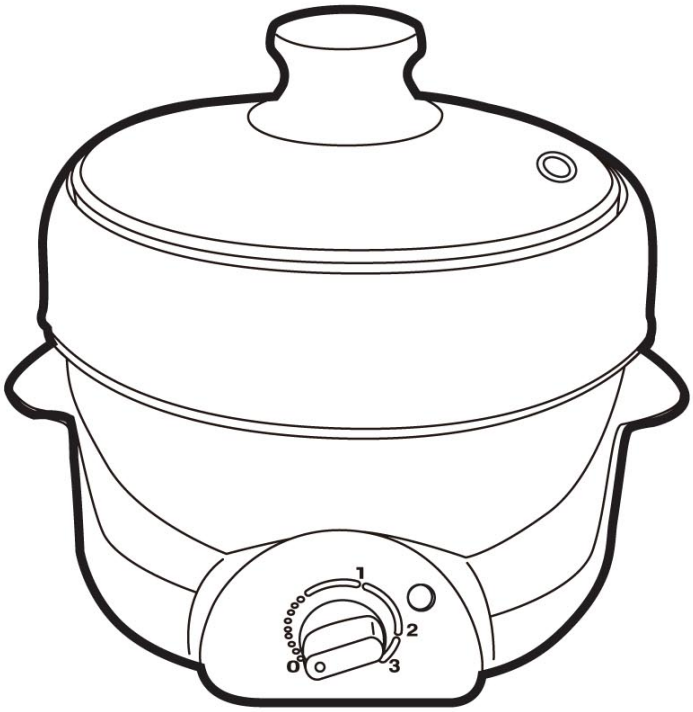
DRETEC

MULTI POT 1.0L

マルチポット　1.0L　　品番 MC-803



※この製品は一般家庭用です。業務用、その他の用途でのご使用はおやめください。
※この製品は日本国内用に設計されておりますので、国外では使用できません。
（FOR USE JAPAN ONLY）

取扱説明書
保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。正しく安全にご使用していただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、本書には保証書が付属されております。お読みになりましたら、大切に保管してください。

目　次

便利なポイント …… 1
安全上のご注意 …… 2〜6
各部の名称 …… 7
ご使用の手順 …… 7
ご使用方法 …… 8〜11
製品仕様 …… 11
お手入れの方法 …… 12
故障かな？と思ったら …… 13
アフターサービスについて …… 13

便利なポイント

■ １台で煮る、蒸す、焼くの３つの調理ができる！

■ つまみで温度を調整できます

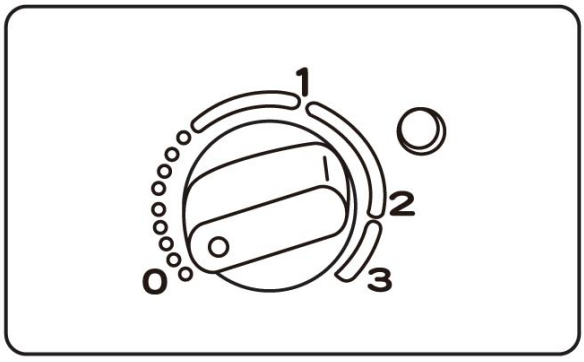
■ ボウルやプレート、アミ、フタを取りはずして洗えるので
お手入れラクラク

■ お手入れ簡単なステンレスボウル

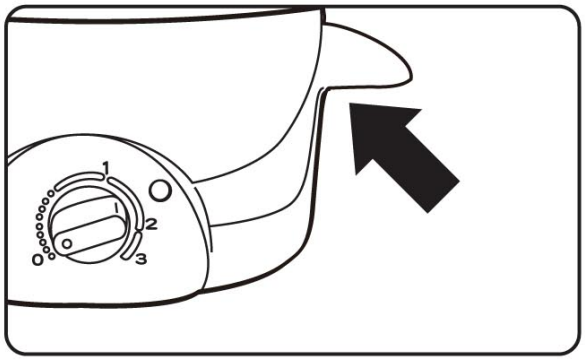
■ 焦げつきにくいグリルプレート

■ 蒸し料理用アミ付き

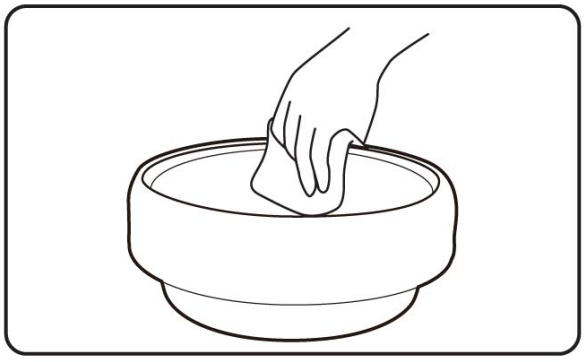
■ 中身が見えるガラスブタ



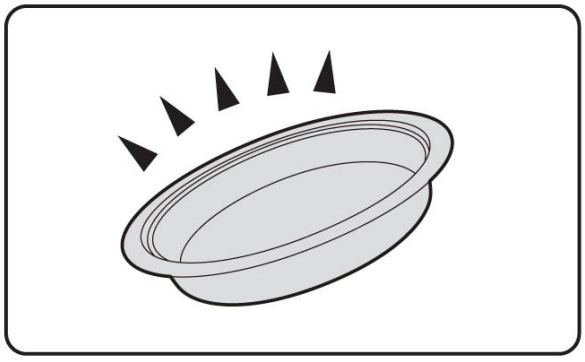
簡単操作の温度調節ツマミ



持ち運びやすい取手



お手入れ簡単ステンレスボウル

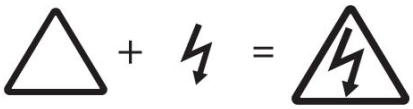
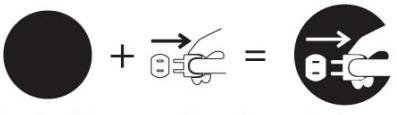


フッ素コート加工グリルプレート

安全上のご注意

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下の表のような警告マークで表示しております。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。
また、これらのマークを表示している事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

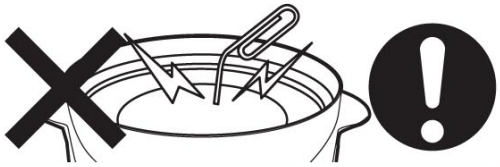
警告マークの種類	警告マークの内容
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
	この記号は、行為を強制したり指示したりする内容のものです。
⚠ 危険	人が死亡または重傷を負うさし迫った危険の発生が想定される内容。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  感電注意	△記号は、危険･警告･注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例 分解禁止	⃠記号は､禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容(左図の例では分解禁止)が描かれています。
例  電源プラグをコンセントから抜いてください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

安全上のご注意

● 感電・やけど・火災・故障などを防ぐために、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

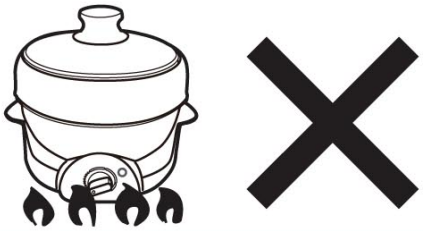
⚠危険

発熱板は通電部分です。金属製クリップやヘアーピンなどの異物を接触させないでください。感電・ショート・発火の原因となります。



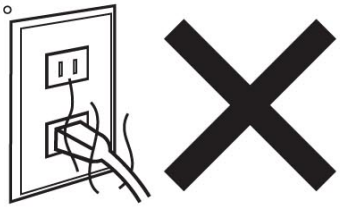
⚠危険

直火では使用できません。また、火気の近くでは使用しないでください。



⚠警告

使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。



⚠警告

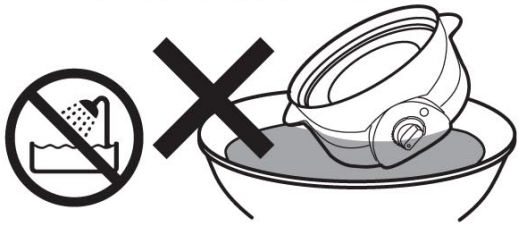
定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

⚠警告

本体を水に浸さないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



⚠警告

使用中もしくは使用後しばらくは本体胴部やステンレスボウル、グリルプレートガラスブタ周辺に手を近づけないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠警告

お子様に使用させないでください。また、幼児・乳幼児のそばで使用したり、手の届く所に置かないでください。

安全上のご注意

⚠警告

強い衝撃を与えないでください。破損・故障・短寿命の原因となります。

⚠警告

交流１００Ｖ以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

電源コードや電源プラグがいたんでいたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

⚠警告

電源プラグのほこりなどは、定期的に取ってください。プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠警告

ぬれた手で、電源プラグの抜きさしをしないでください。感電の原因になります。

⚠警告

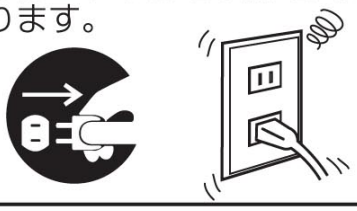
電源プラグは根元まで確実にさし込んでください。さし込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。

⚠警告

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。コードを持って引き抜くと感電・ショート・発火することがあります。

⚠警告

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



安全上のご注意

⚠警告

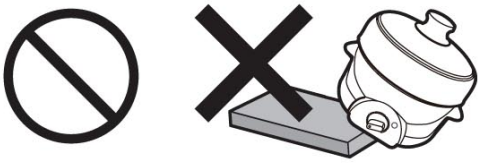
調理中は、そばを離れないでください。

⚠警告

天ぷらや揚げ物はしないでください。
また、調理以外には使用
しないでください。

⚠警告

不安定な場所や熱に弱い敷物の上や、カーテン等の可燃物の近くで使わないでください。火災の原因になります。



⚠警告

コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

⚠注意

使用中、本体を移動させないでください。けがや故障の原因となります。

⚠注意

ステンレスボウルで焼肉などをしないでください。焼き物料理には必ず付属のグリルプレートをご使用ください。

⚠注意

なべものや蒸しもの料理のときは熱い蒸気が出るので、ガラスブタの取りはずしにはご注意ください。

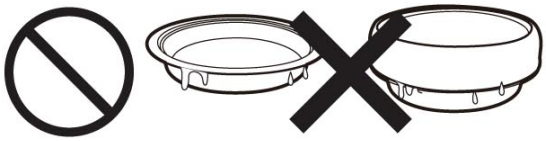
⚠注意

発熱板で直接料理しないでください。
また、専用以外のボウル・プレート・やかん・アミなどを使用しないでください。

安全上のご注意

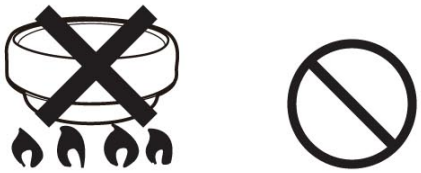
⚠注意

ステンレスボウルやグリルプレートの底が濡れている場合は、底をよく拭いてからご使用ください。



⚠注意

ステンレスボウルやグリルプレートをガスコンロなどの直火にかけないでください。



⚠注意

缶詰や瓶詰を直接加熱しないでください。破損したり、赤熱してやけどやけがをすることがあります。

⚠注意

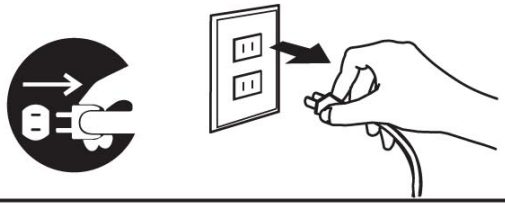
グリルプレートの内側を金属製のへらや鋭い刃物でこすらないでください。コーティングが傷つき腐食の原因になります。

⚠注意

水やスープ・具材が入っていない状態で電源を入れないでください。空焚きをすると発熱板部分が熱くなり、やけどや故障・火災の原因となります。

⚠注意

本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜いて本体が十分冷めてから行なってください。感電やけがの原因になります。



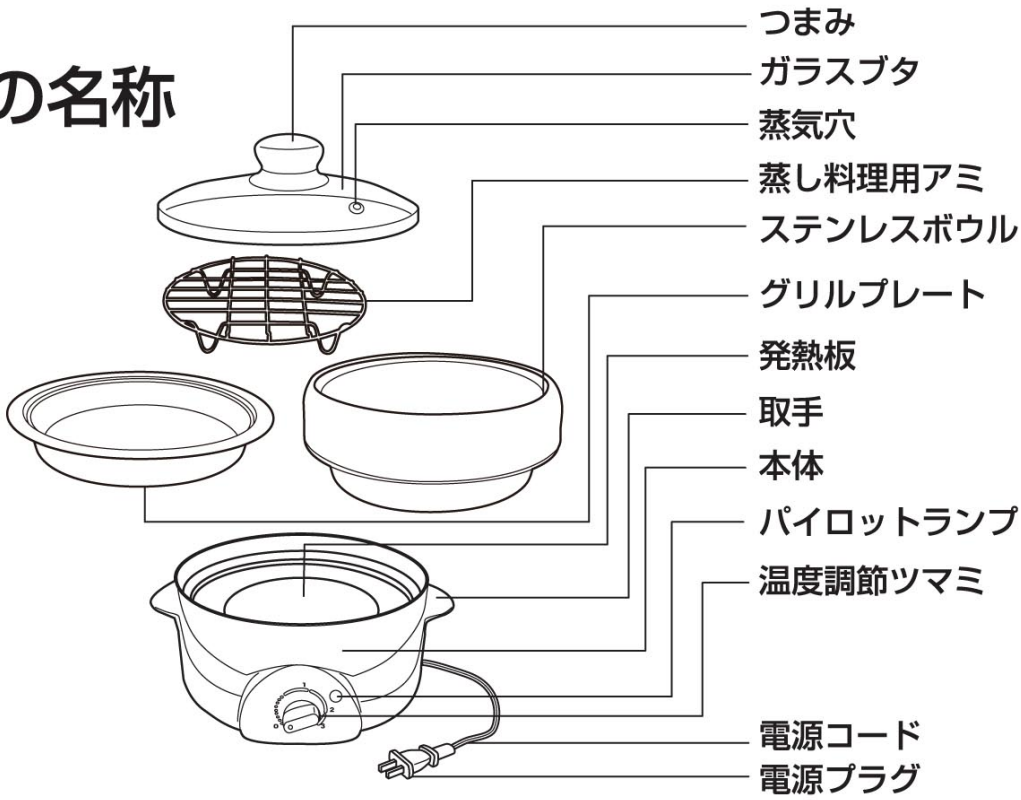
⚠注意

長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。

⚠注意

破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。廃棄する際は、お住まいの地域の指示に従い分別してください。

各部の名称



ご使用の手順

1 パーツを本体にセットする。

本体に調理の内容により必要なパーツをセットしてください。
※「調理方法」の項を参照ください。

⚠注意 本体は、滑りにくく濡れていない水平な場所に置いてください。

2 電源プラグをコンセントにさし込む。

温度調節ツマミが「0」の位置にあることを確認してから、さし込みます。

⚠注意 ぬれた手で電源プラグの抜きさしはしないでください。ショート感電のおそれがあります。

3 具材、だし、スープ、水などを入れる。

温度調節ツマミを操作してスイッチを入れる前に、必ず水やスープなどを入れておいてください。

⚠注意 空焚きしないでください。

4 温度調節ツマミで調理温度を設定する。

温度調節ツマミは、右に回すと温度が高く、左に回すと温度が低く設定されます。
※ 適切な温度は調理の内容によって異なります。具材の状態を見ながら火力の調節をしてください。
※ パイロットランプは、通電時に点灯します。ご使用中についたり、消えたりしますが、自動的に温度調節をしているためで、故障ではありません。

5 調理が終わったら温度調節ツマミを「0」にして電源を切る。

温度調節ツマミを「0」の位置に戻してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご使用方法

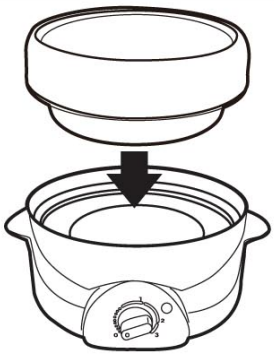
～準備～

ステンレスボウル・グリルプレート・蒸し料理用アミ・ガラスフタは、中性洗剤でよく洗い水気をきってからご使用ください。はじめてご使用になるときには、煙やにおいが出ることがありますが、異常ではありません。ご使用にともない出なくなります。

～煮る～

1 本体にステンレスボウルをセットします。

【図 1】



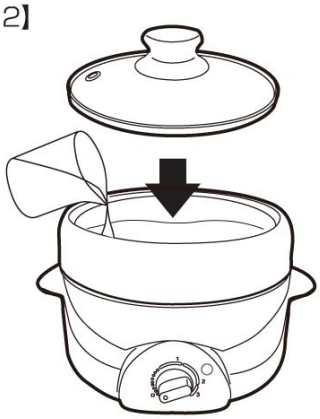
●必ずステンレスボウルの底面が発熱板にしっかりと密着するようにセットしてください。【図 1】
●温度調節ツマミが「0」の位置にあることを確認して、電源プラグをコンセントにさし込みます。

⚠ 注意 **ボウルの底面や発熱板の表面は常にきれいな状態で使用してください。また間に異物などがはさまらないように、ご注意ください。**
異物などがあると、感電・ショート・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意 **ボウルの底面に水がついた場合は、よく拭き取ってから発熱板にセットしてください。**
そのままセットしますと、感電・ショート・故障のおそれがあります。

2 水またはだし汁（スープ）を入れる。

【図 2】



●料理の内容や必要に応じて、ガラスブタをしてください。【図 2】

⚠ 注意 **水やスープを入れすぎないようにしてください。**
水やスープを入れすぎますと、ふきこぼれるおそれがあり、感電・ショート・火災・故障の原因になります。

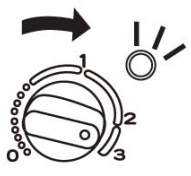
⚠ 注意 **ガラスフタをするとふきこぼれやすくなりますので、十分ご注意ください。**
ガラスフタには急激な衝撃を与えないでください。破損や故障のおそれがあります。

⚠ 注意 **ガラスフタをするときやはずすときは、必ず取手の部分を持って扱ってください。**
ガラスが高温になって、やけどをするおそれがあります。

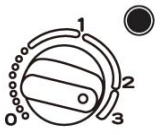
⚠ 注意 **グリルプレートを一緒にセットしないでください。**
故障・火災・事故の原因になります。

3 温度調節ツマミを右に回す。

【図 3】



【図 4】



●パイロットランプが点灯し電源が入ります。【図 3】
●適温になると、パイロットランプが消えます。【図 4】
●調理状態を見ながら、火力を強めたり、弱めたりしてください。

⚠ 注意 **本体にステンレスボウルがセットされていない状態では通電させないでください。**
本体が過熱して、やけど・火災・事故の原因になります。

⚠ 注意 **調理中は、そばを離れないでください。**
火災・事故の原因になります。

4 調理が終わったら、温度調節ツマミを「0」に戻して電源を切る。

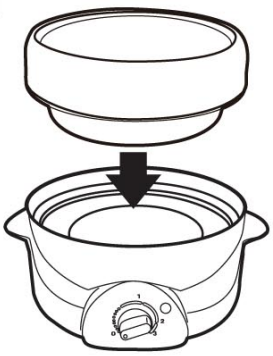
●温度調節ツマミを「0」の位置に戻してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意 **ステンレスボウルは完全に冷めてからはずしてください。**
やけどの原因になります。

～蒸す～

1 本体にステンレスボウルをセットします。

【図 5】



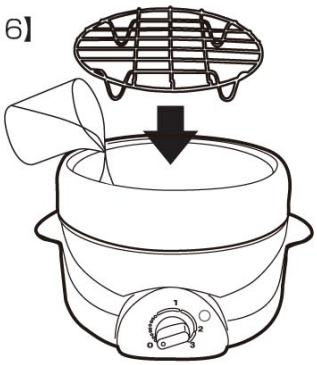
●必ずステンレスボウルの底面が発熱板にしっかりと密着するようにセットしてください。【図 5】

⚠ 注意 **ボウルの底面や発熱板の表面は常にきれいな状態で使用してください。また間に異物などがはさまらないように、ご注意ください。**
異物などがあると、感電・ショート・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意 **ボウルの底面に水がついた場合は、よく拭き取ってから発熱板にセットしてください。**
そのままセットしますと、感電・ショート・故障のおそれがあります。

2 蒸し料理用アミをセットする。

【図 6】



●ステンレスボウルの中に蒸し料理用アミをセットします。【図 6】
●ステンレスボウルの中に水を入れます。
※水量は多すぎないように、また少なすぎないようにご注意ください。

⚠ 注意 **蒸し料理用アミはステンレスボウルのみで使用してください。**
グリルプレートではご使用にならないでください。

⚠ 注意 **グリルプレートを一緒にセットしないでください。**
故障・火災・事故の原因になります。

3 食材をいれる。

【図 7】

●食材を入れます。
●ガラスフタをかぶせてください。【図 7】

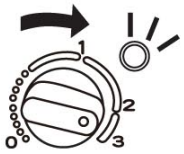
⚠ 注意 **ガラスブタをするとふきこぼれやすくなりますので、十分ご注意ください。**
ガラスブタには急激な衝撃を与えないでください。破損や故障のおそれがあります。

⚠ 注意 **ガラスブタをするときは、必ずつまみの部分を持って扱ってください。**
ガラスが高温になって、やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意 **ガラスブタあけるときは、蒸気が顔や手にかからないようにご注意ください。**
やけどをするおそれがあります。

4 温度調節ツマミを右に回す。

【図 8】



●パイロットランプが点灯し電源が入ります。(図 8)
●適温になると、パイロットランプが消えます。【図 9】
●調理状態を見ながら、火力を強めたり、弱めたりしてください。

本体にステンレスボウルがセットされていない状態では通電させないでください。
注意 本体が過熱して、やけど・火災・事故の原因になります。

【図 9】

調理中は、そばを離れないでください。
注意 火災・事故が起きるおそれがあります。

5 調理が終わったら、温度調節ツマミを「0」に戻して電源を切る。

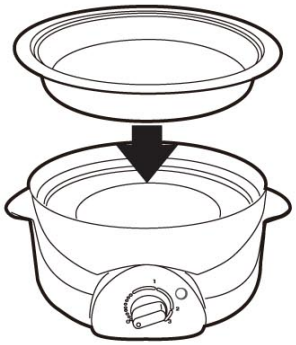
●温度調節ツマミを「0」の位置に戻してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ステンレスボウルは完全に冷めてからはずしてください。
注意 やけどの原因になります。

～焼く～

1 本体にグリルプレートをセットします。

【図 10】



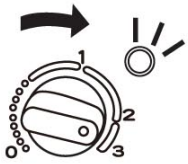
●必ずグリルプレートの底面が発熱板にしっかりと密着するようにセットしてください。【図 10】
●温度調節ツマミが「0」の位置にあることを確認して、電源プラグをコンセントにさし込みます。

グリルプレートの底面や発熱板の表面は常にきれいな状態で使用してください。また間に異物などがはさまらないように、ご注意ください。
注意 異物などがあると、感電・ショート・火災・故障の原因になります。

グリルプレートの底面に水がついた場合は、よく拭き取ってから発熱板にセットしてください。
注意 そのままセットしますと、感電・ショート・故障のおそれがあります。

2 温度調節ツマミを右に回す。

【図 11】



●パイロットランプが点灯し電源が入ります。【図 11】
●適温になると、パイロットランプが消えます。【図 12】
●グリルプレートに食用油などを入れなじませます。

本体にグリルプレートがセットされていない状態では通電させないでください。
注意 本体が過熱して、やけど・火災・事故の原因になります。

【図 12】

3 食材を入れる。

【図 13】

●食材を入れます。【図 13】
●調理状態を見ながら、火力を強めたり、弱めたりしてください。

⚠ **調理中は、そばを離れないでください。**
注意 火災・事故の原因になります。

4 調理が終わったら、温度調節ツマミを「0」に戻して電源を切る。

●温度調節ツマミを「0」の位置に戻してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

製品仕様

電　　源	AC100V　50Hz/60Hz 共用
定格消費電力	650W
温度調節範囲	70～240℃（電源 ON、1、2、3）
満 水 容 量	1.0 リットル（ステンレスボウル）
サ　イ　ズ	幅 23.7× 奥行 19.8× 高さ 16.6cm（ステンレスボウル・ガラスブタセット時）
重　　量	約 1.3kg（ステンレスボウル・ガラスブタセット時）
電源コード長さ	約 1.8m
付属品（サイズ）	ステンレスボウル（内径 16× 深さ 6cm） グリルプレート（内径 16× 深さ 2.5cm） 蒸し料理用アミ（直径 15× 高さ 2.5cm）
品 質 表 示	ステンレス 強化ガラス スチール（フッ素コート） PBT 樹脂

MADE IN CHINA

お手入れの方法

⚠ お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体・各パーツが冷めた状態になってから行なってください。

～「水洗いできないもの」のお手入れ～

本体・発熱板の水洗いは絶対にしないでください。ショート・感電・故障のおそれがあります。
【図 14】

本体

●付着した料理カスや油などは、かたく絞った布やキッチンペーパーなどで拭き取ってください。【図 15】

発熱板

●発熱板のまわりに入りこんだ料理カスなどは、竹グシなどできれいに取り除いてください。

●発熱板に料理カスがこびりついたときは、かたく絞った布などで拭き取ってください。

●こびりついたままで使用しますと、故障の原因になります。

～「水洗いできるもの」のお手入れ～

使用後はお早めにお手入れしてください。残った料理や具材をそのままにしておいたり、水を入れたままにしておくと、フッ素コートがはがれたり、金属部分にサビが発生する原因になります。

ガラスブタ

●中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よくすすいだ後、乾いた布で水気をとってください。ガラス製品なので、取扱いに注意してください。

※ガラスブタは高温の状態で水に入れたり、水をかけたりすると割れるおそれがあります。十分に冷ましてから洗ってください。

※部分的に亀裂が入った場合、しばらくしてから亀裂が全体に広がり割れることがあります。亀裂の入ったガラスブタは以後の使用を避けてください。

ステンレスボウル / グリルプレート / 蒸し料理用アミ

●ステンレスボウル、グリルプレート、蒸し料理用アミは流水で丸洗いできます。【図 16】

●軽い汚れは温かいうちにキッチンペーパーなどで拭くとよくとれます。

●汚れがひどいときは、本体から取りはずし、中性洗剤を含ませたスポンジで洗ってください。

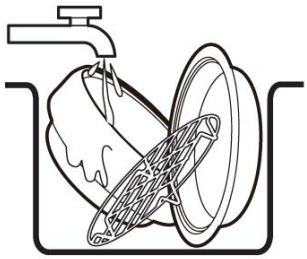
●洗剤が残らないようによくすすいで、乾いた布で水気をとり、乾燥させてください。

●クレンザーや金属タワシは使用しないでください。

【図 14】

【図 15】

【図 16】



故障かな？と思ったら

※次の点をチェックしましょう。

こんなときは	原　因	対　策
電源が入らない	電源プラグが抜けている。	電源プラグをしっかりとさし込んでください。
	温度調節ツマミが「0」になっている。	調理状態に応じて温度調節ツマミを調節してください。
	温度調節ツマミの設定温度よりボウルやプレートが熱くなっている。	設定した温度より下がると、再度通電します。
パイロットランプがついたり消えたりする	故障ではありません。一定の温度を保つため調節しているためです。	そのままお使いいただいて問題はありません。
使用中にカチカチと音がする	故障ではありません。ヒーターの熱膨張により発生する音です。	そのままお使いいただいて問題はありません。

製品についてのお問い合わせ

製品についてご不明な点がございましたら、当社のお客様相談センターまでお問い合わせください (下記の「アフターサービスについて」を参照)。
また、お客様ご自身での分解や修理は危険ですので絶対にしないでください。

アフターサービスについて

修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

製品の保証について

●この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認の上内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年以内

●保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
●保証期間後の修理について
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させて頂きます。
●当社修理技術者以外の人が分解・修理した場合は、保証・修理はできません。

修理を依頼されるとき

●「故障かな？と思ったら」の内容にて確認していただき、それでも異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店に製品と保証書をご持参の上、修理をご依頼ください。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。

問い合わせ先

●ご不明な場合は、お買い上げの販売店または、株式会社ドリテックまでお問い合わせください。

輸入発売元　株式会社 ドリテック　〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9
お客様相談センター　フリーコール 0120-875-019
（受付時間：月～金10：00～12：00, 13：00～16：00 祝祭日および当社指定休日を除く）
URL：http://www.dretec.co.jp

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。
本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

品　番	MC-803		
保証期間	対象部品	お買い上げ日より	保証条件
	本体	1年以内	持込修理
お買い上げ日	年　月　日		
お客様	お名前 ご住所 お電話		
販売店	販売店名 ご住所 お電話		

〈保証規定〉

●次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
※ご使用上に生じる外観の変化。
※本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
※本保証書のご提示がない場合。
※一般家庭以外に使用された場合（例として、業務用としての使用）の故障および損傷。
●有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。
●お買い上げ後 1 年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●ご転居やご贈答などで本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、株式会社ドリテックへご連絡ください。
●本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
●保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

輸入発売元　株式会社 ドリテック
〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9

お客様相談センター　フリーコール 0120-875-019
（受付時間：月～金10：00～12：00, 13：00～16：00 祝祭日および当社指定休日を除く）
URL：http://www.dretec.co.jp